

拡散反射率をみると、布目方向の反射強度が非常にちがっていて、これを線グラフに表すと布地の光沢の性質がわかって、反射率曲線は求めなかったが、一番光沢のある Acetate Satin は布方向によっては Bemberg や Broad よりかえって反射率が低く、また布方向によって極端に反射率が高い等、Texture の不均一の様相がよくわかり、布地による光沢の性質をみることができた。

②B—35 皮膚の色と布地の光沢について（第二報）

東京家政大 木曾山かね

1. 前回においては皮膚の色の選定実験、布地の光電測定機による測定実験と皮膚の色と布地の光沢との関係をみた結果について一私見を述べたが、前回の実験に用いた布地を再検討して、肌色の関係を見た実験上、疑問であった点等を今回は考察した。

2. 今回の布地の実験方法は、天然光線下と人工光線下における布地を視感測定によってみる。という方法と、村上色研の Gloss meter Gm 3 型を用いて、拡散反射率をとる（この場合布目方向をたて、よこ、斜等にかえてみる）こととした。

3. 結果をみると人工光線、天然光線下でも Acetate Satin がつやがよく、Rayon 45% Silk 55%の交織がこれにつぎ、綿 Broad や Rayon の Bemberg がこれにつづく。が一つ一つ布方向によってみるとその通りでもない。また Gloss meter を用いて、たて、よこ、斜の